

大阪教区主催「多宝塔ヒルクライム」(6/30) 報告書

(開催日時) 2016年(平成28年)6月30日(木) 午前8時

(開催目的・意義)

大阪府と和歌山県の境にある和泉葛城山の山頂を目指します。スタート地点付近にある牛滝山・大威徳寺は、弘法大師の修行地とされる由緒あるお寺です。ここに、国の重要文化財である朱塗りの「多宝塔」があることから、多宝塔出現(万教帰一の真理により、宗派争いが消え、世界平和が実現すること)を祈念しながら、肉体が自然の一部であることを感じる事が出来る「多宝塔ヒルクライム」を本部の指導とサポートにより、開催することが出来ました。

<コース>

スタート:牛滝林道入口 ゴール:和泉葛城山山頂葛城神社前 和泉葛城山(岸和田側)

走行距離:約 **7.1 km** 標高差:**577m** 平均斜度:**8.1%**

<ショートコース>

スタート:ゴール前2.5km ゴール:和泉葛城山山頂葛城神社前 和泉葛城山

(岸和田側) 走行距離:**2.5 km**

(参加者数)

出場者は、**男性 15名、女性 3名** (ショートコース) の**合計 18名**

運営委員が19名の、**総数 37名**で実施致しました。

(参加教区)

大阪、奈良、和歌山、三重、宇治、本部(順不同)から、参加がありました。



※奈良教区の各務 洋行 教化部長、三重教区の寺川 昌志 教化部長和歌山教区の山本一信 教化部長が参加下さいました。

※優勝者は宇治の鈴木直人さんでした。

※本部から、岡田慎太郎さん、松井雅永さん、中根敏也さんの3名にお越し頂きました。

(天候)

当日は、柔らかな霧がかかり時々霧雨程度の雨が心地よい、暑すぎもなく、寒くもなく、ヒルクライムを実施するのに絶好の天気となりました。

※総裁先生の御心のままに、神・自然・人間の調和を表現したような、絶好の天気となりました。ありがとうございます。

(参加者の喜び)

- ① 全員が完走し、無事にゴールすることが出来ました。
- ② 樋上和子白鳩会連合会長、瀧谷優子副会長、山田慶子事務局長の3名が参加し、ヒルクライムの楽しさ、素晴らしさを体験・体感され、SNI自転車部への入会を決意されました。
- ③ 数名の喜びのコメントを紹介致します。

○ゴール前、150メートル地点での分岐点で、警備誘導をさせて頂きました。分岐点で、皆様が、走って上がって来られるお姿に、感動でした。「ありがとうございます。がんばれ」と応援させて頂きながら、お一人お一人に、これまでのドラマがあったのだろうと、うるうるしていました。皆様の自転車を見ていると、私も購入にとても気持ちが高まりました。そして、今度は、出場します。(住永祥美)

○多宝塔ヒルクライムに初めて参加させて頂きました。殆ど何の練習もせずに参加しましたので、身体中がビックリ?? 何とか頂上迄、辿り着いたと言うお恥ずかしいヒルクライムでした?? でも、皆様とご一緒出来たことや自然の中に身を置かせて頂いた喜びは何にも増して、大きかったです。今後ともどうぞ宜しくお願い致します?? (樋上和子)

○本部員の皆さま、この度の多宝塔HCに多大なるサポート並びに情報発信をして盛り上げて下さり、感謝申し上げます。天候も奇跡的に昨晚から雨が止み、朝早くから大阪教区の多くの方々が普段は踏み入れない和泉の森の中に駆け付けて下さり、献身的なご奉仕をして頂きました。お陰さまで、何とか無事に終えることが出来ました。出場した方、関わった全ての方が、神、自然と一体感を感じられる素晴らしいイベントとなりました。また、近隣の教化部長様、宇治の講師が駆け付けて奮って出場して下さい、初めてのHCに華を添えて頂きました。感謝申し上げます。次回もお待ちしています。多宝塔ヒルクライムに参加して、これから少しずつ自転車通勤をしていきたいと思えます。(岡田幸久)

○多宝塔ヒルクライムの坂道を、はじめて、全部こいで登れた(いつも途中で歩いて)のは、大変な自信となりました。また、周囲の皆様の温かい愛に気づかされました。1人で練習してたときは、途中で挫折しておりましたが、仲間と登ると、無限力が出るものですね。開催2日後(7/2)、はじめて、自転車通勤しました。岸和田から上本町まで、29.16km、ヒルクライム(6/30)で、完走できたので、自信をつけたこともあり、通勤してみました。風が気持ちよく、大和川を眺

めて、心癒やされました。(河野知足)

(クラフト倶楽部、菜園部とのコラボ、PBS 三部のムスビ)

- ① オーガニック菜園部メンバーがエイドステーションに梅ジュース、紫蘇ジュース、おむすび 3 種、そうめん、泉州水ナス浅漬、泉州玉ねぎカツ、スイカ（被災地である熊本産のもの）、和歌山の梅干し等の、地域の名産物である、地産地消と熊本の復興を祈念して、食材を選択し、準備をして頂きました。



- ② クラフト倶楽部メンバーが参加賞のワッペン（コースターとしても可）、また、和歌山教区・山本 一信 教化部長が入賞者の景品（お守り）を自作して下さいました。



※プロジェクト型組織である、PBS 三部 (SNI 自転車部、SNI オーガニック菜園部、SNI クラフト倶楽部) が結び合い、これから、大阪教区のフェスタ (11 / 13) に向け、益々、倫理的生活者の輪を拡げ、伸びていくための素晴らしい行事となりました。

(多宝塔の意義、ライフスタイルの転換)

オープニングセレモニーでは、大阪教区・久利 修 教化部長から、多宝塔の意義を学び、万教帰一を願い、多宝塔の参拝を実修致しました。



クロージングセレモニーでは奈良教区・各務 洋行 教化部長の先導で世界平和の祈りを实修するなど、祈りに始まり、祈りに終わる、大変素晴らしい行事となりました。

また、今回のヒルクライムにより、SNI 自転車部への入会を決意する方が5名生まれました。また、参加の喜びが決意となって、自転車購入を決意したり、長距離の自転車通勤を実践しはじめるなど、ライフスタイル転換のきっかけとなりました。

(開催後の反響)

開催後、その喜びをフェイスブック等で発信したところ、富山など、同様のヒルクライムイベントの開催を自転車部に願い出る教区がありました。他教区、他地域にまで、その喜びが広がったことは、まさにムスビの運動であり、特筆に値すると思われ



(次回の日程)

平成28年9月19日(祝)敬老の日、天女山ヒルクライムの予選として、開催致します。